

新まんてんてらこや（第1回）

地震学や防災学について、最新の研究成果や役だつ話題をわかりやすくお伝えする講演会シリーズです。阿武山観測所で以前開催していた講演会を衣替えて、2021年4月に発足した「NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム」の主催で新たにスタートします。今回は、その記念すべき第1回です。多くのみなさまにご参加いただければ幸いです。

[日時] 2022年3月15日(火) 10:30~12:00

[会場] オンライン開催(zoom形式・ライブ動画視聴)

[参加費] 一般500円(申込時にWEBからお支払いいただけます)

本NPO会員は無料

[申込] 当会ホームページからライブ動画視聴申込を事前に行ってください。お申込みの方に当日のURLをお知らせいたします。

<https://www.npo-abuyama.org>

[アフタータイム] セミナー終了後、12時から約30分間、希望者のみで観測所所長や当日の講師と観測所やNPO活動についてお気軽にお話しいただけます。

[問合せ] contact@npo-abuyama.org

海の地震の測り方

～高い水圧下にある深海は
宇宙よりはるかに過酷な環境～

講師 片尾 浩
京都大学防災研究所 准教授

自己浮上式海底地震計
(京都大学防災研究所開発)

新まんてんてらこや 第1回

— 海底地震計による観測の様子とその成果 —

海の地震の測り方

～高い水圧下にある深海は宇宙よりはるかに過酷な環境～

講師

片尾 浩

京都大学防災研究所 准教授

1958年 東京都生まれ

1988年 東京大学大学院理学研究科 第1種博士課程修了 理学博士

1991年 京都大学防災研究所助手(阿武山観測所勤務)

2000年から現職 専門は地震学



日本は『地震国』と呼ばれますが、東日本大震災や南海トラフ地震等の例を挙げるまでもなく、主要な地震現象の多くは海域で発生します。『海の地震』を詳しく調べるためには、できるだけ対象に近づいて、すなわち海底で観測することが必要になります。しかし、光も電波も通さず高い水圧下にある深海は、宇宙よりはるかに過酷な環境であり、海底観測には様々な困難が立ちまわります。

本講演では、『海底地震計』の開発にチャレンジしてきた研究者たちの技術的な創意工夫、それらを用いた観測の様子とその成果について紹介します。



当NPOは、京都大学阿武山観測所がこれまで取り組んできた「地震サイエンスミュージアム」活動を、「オープンサイエンス」運動としてさらに発展させたいと考え、2021年4月に設立しました。

当法人では、正会員、準会員、賛助会員を募集しています。

会員には、当講演会の参加費が無料になるなど、様々な特典があります。また、どなたでもご入会いただくことが可能です。詳しくは当法人ホームページをご覧ください。

<https://npo-abuyama.org>



特定非営利活動法人 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

所在地 〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原944

京都大学防災研究所阿武山観測所内